

褒章 叙勲

11月3日付けて平成18年秋の叙勲受章者が発表され、町内から杉茂さんに藍綬褒章が、村上慶悉さんと富永和子さんに瑞寶雙光章が伝達されました。(年齢順に掲載) 11月に都内での伝達式と皇居宮中での拝謁にそれぞれが出席しました。この栄典制度の叙勲と褒章は、毎年春と秋に発表されます。叙勲は公に対する功勞者が対象で原則70歳以上、褒章は社会的分野で優れた業績をあげた人が対象で原則55歳以上に授与されます。

藍綬褒章 | 杉茂さん



およそ35年もの間、旧金田町の選挙管理委員を務め、長きにわたりその委員長として職務を遂行した杉茂さん(金田本町・76歳)。その間、選挙では一度のミスもありませんでした。「みなさんの温かい支えのおかげで責務を全うすることができました。これはわたくし個人ではなく、旧金田町の的確な選挙事務が受章したものだと思っ止めています」と、あくまでも謙虚に喜びを語りました。

瑞寶雙光章 | 富永和子さん



昭和53年から30年間にわたり保護司を務めた富永和子さん(伊方大星・75歳)。保護観察処分を受けた青少年や刑期を終えて出所した人の社会復帰を支え、見守ってきました。平成3年秋に民生委員活動等で藍綬褒章を受章された夫・武元さんと、ご夫婦そろっての喜びの受章です。「常に母親になったつもりで接しました。受章は身に余る光栄です」と更生保護活動を振り返りました。

瑞寶雙光章 | 村上慶悉さん



昭和31年から教諭、県教委社会教育主事を経て、昭和58年から11年間、真崎小、赤池中、市場小と学校長を歴任した村上慶悉さん(上野常福・73歳)。退職後は赤池町教育委員を経て平成8年に赤池町収入役に就任。財政再建やベイオフの対応など9年間にわたる公務に尽力されました。「これまでの皆様方のお力添えとご厚情に心から感謝いたします」と受章の感謝を表しました。

表彰 受賞

11月から12月にかけて、町内から功勞表彰をはじめ、福岡県シニア美術展、第6回福岡県ねりんスポーツ・文化祭の受賞者が続出しました。なお、11月14日に同文化祭で行われた高齢者福祉功勞者表彰で、藤掛修市さん・赤池伏原、故・前山直さん(赤池中町団地)、植高芳巳さん(金田平原、森野久七さん(上金田)、福田昌さん(東金田)、堀江研美さん(神崎)の6人のかたが、福岡県老人クラブ連合会会長表彰を受けました。

九州経済産業局長表彰 | 高鶴智さん



上野焼庚申窯を息子の享一さんと営む高鶴智さん(上野小路)。自然体で作陶に取り組みながら上野産の陶土にこだわり、熟練した技法で多くの秀作を生み出してきました。今回、伝統工芸振興の功勞が評価され、12月5日に福岡市で九州経済産業局長表彰を受けました。

2006福岡県シニア美術展 県知事賞 | 井上数夫さん



竹工芸で全国展銀賞、西部工芸展入選の実力を持つ井上数夫さん(赤池生力NT)。11月14日に大野城市で県シニア美術展工芸部門最優秀賞の県知事賞を受賞しました。受賞した花籠の作品名は「千鳥」、平成15・16年と同賞を連続受賞し、今回3回目の受賞になりました。

県将棋大会 一位 | 原田美喜男さん
三位 | 桑野博行さん



11月12日にクローバープラザ(春日市)で行われた第6回福岡県ねりんスポーツ・文化祭の将棋交流大会で、原田美喜男さん(金田昭和町)がEパートで見事優勝。桑野博行さん(市場猿田)がFパートで3位に入賞しました。

県ゲートボール大会 入賞 | 赤池・松尾チーム



11月12日に福岡市で行われた県ねりんスポーツ・文化祭のゲートボール大会で、赤池・松尾チームが3戦全勝。コート優勝を果たし、参加72チーム中5位の成績を残しました。選手は松尾マツ子さん(岩屋組)、立川忠義さん(西町)、手鏡昭典さん(板取)、山本弘さん(板屋団地)、太田富子さん(大久保)。

長年の労と功績をたたえ、栄えある受章
日頃の修練、技、成果がもたらした表彰